

モデルナ・ジャパン、「スパイクバックス®筋注」において、生後6カ月以上5歳未満を対象とした追加免疫に関する承認事項一部変更を申請

Moderna Inc.（以下、「モデルナ」）の日本法人モデルナ・ジャパン株式会社（東京都港区、代表取締役社長：長山和正、以下、「モデルナ・ジャパン」）は6月28日付で、「スパイクバックス®筋注」において、生後6カ月以上5歳未満を対象とした追加免疫に関する承認事項の一部変更申請を厚生労働省に行ったことを発表しました。

COVID-19は、高齢者や免疫不全を有するリスクの高い方だけでなく、乳幼児においても重症化のリスクが高く、肺炎などの入院を要する疾病を引き起こす可能性があります¹。

モデルナは今回の承認事項一部変更申請により、生後6カ月以上の乳幼児を含め、あらゆる世代の方が初回免疫又は追加免疫を問わず「スパイクバックス®筋注」を接種可能にすることで、COVID-19の発症および重症化リスクの軽減に貢献できると考えています。

References :

1. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2022 Mar 18;71(11):429-436.
doi:10.15585/mmwr.mm7111e2.

モデルナについて

モデルナは、mRNA 医薬品分野における革新的リーダーです。mRNA 技術の進展を通して、モデルナは医薬品の製造方法を根本から変え、疾患の治療と予防へのアプローチを変革し続けています。モデルナは10年以上にわたって科学、技術、健康分野の研究に取り組んでおり、前例のないスピードと効率性で医薬品を開発しています。新型コロナウイルスワクチンの開発はその代表例です。

モデルナの mRNA プラットフォームは、感染症、免疫腫瘍学、希少疾患、自己免疫疾患の治療薬やワクチンの開発を可能にしています。独自の企業文化と価値観、マインドセットを共有する世界の社員が力を合わせ、人々の健康に貢献するため、そして mRNA 医薬品を通じて、人々に最大限のインパクトをもたらすべく尽力しています。モデルナの詳細については、modernatx.com をご覧ください。また、X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube、LinkedIn をフォローしてください。

将来予測に関する表明

本プレスリリースには、改正された1995年度米国民事証券訴訟改革法の意味の範囲内における将来予測



に関する記述が含まれています。これには、日本における厚生労働省に対するスパイクバックスにおいて、生後6カ月以上5歳未満を対象とした追加接種に関する承認事項一部変更申請、新たな選択肢として承認される可能性、および迅速に導入できるモデルナの能力が含まれています。本プレスリリース中の将来予測に関する表明は約束と保証のいずれでもなく、それらには既知および未知のリスク、不確実性、およびその他の要因が関わり、その多くはモデルナの統制の範囲外にあり、かつ実際の結果を将来予測に関する表明に表現されている、あるいはそれから黙示的に示されるものから大きく異なる可能性があるため、これらの将来予測に関する表明に対して過度に依存しないようお願いいたします。これらのリスク、不確実性、およびその他の要因には、米国証券取引委員会（SEC）のウェブサイト（www.sec.gov）から入手可能な、モデルナがSECに提出した2023年12月31日を期末とする年度のフォーム10-K年次報告書および以降にSECに提出した書類の「Risk Factors」欄に記載されたリスクと不確実性が含まれています。法によって求められる場合を除き、モデルナは本プレスリリースに含まれるいずれの将来予測に関する表明についても、新たな情報、将来的な展開、あるいはその他のいずれを理由とするかを問わず、更新または改訂する意図または責任を持ちません。これらの将来予測に関する表明はモデルナの現時点での予測に基づくものであり、本プレスリリースの日付においてのみ有効です。